

■■■■令和2年度 企業向け ごみ減量実践講座■■■■

京都商工会議所と協力して開催している「エコロジーはエコノミー ごみ減量実践講座」。この講座は、企業のごみ減量や環境対策を主なテーマに多彩な顔ぶれの講師をお招きし、廃棄物に関連する最新情報や取組事例、廃棄物処理現場の見学会等を開催しています。今年度、第2回～4回のご案内です。

是非、ご参加ください！

- 主催：京都市ごみ減量推進会議・京都商工会議所
- 後援：公益社団法人 京都工業会・NPO法人 KES 環境機構
一般社団法人 京都府産業廃棄物3R支援センター

企業の環境担当者を主として、一般・学生の皆さんも参加いただけます。

第2回
講座+
ウェビナー

令和2年12月2日（水）

「災害廃棄物とBCP～事業を継続するために～」

喫緊の課題の一つである災害対策。人命確認の次は、大量の廃棄物の処理。地域全体で災害廃棄物の処理が上手いかなければ、事業継続への大きな足かせになります。事業者として、早く事業を立て直すためにどう備えていけばよいのか。災害廃棄物の発生は減らせるのか。社内でもどのように意識を共有するのか。BCP（事業継続計画）の基本と併せて、それぞれの専門家からお話を聞きます。事前に質問をいただければ、当日のお話で解決の糸口が見つかるかも！

日 時： 令和2年12月2日（水） 午後2時30分～4時30分

会 場： 京都経済センター 6階 6-C会議室

オンライン会場： オンライン配信（ライブ） *お申込者に、別途ご案内します。

参加費： 無料（ごみ減会員・非会員共に）

定 員： 会場 50名・オンライン 50名（ごみ減会員優先・先着順）

講 師： 浅利美鈴氏 廃棄物資源循環学会理事 災害廃棄物研究部会長（京都大学大学院地球環境学学准教授）

野口礼人氏 応用地質株式会社 地震防災事業部

参加申込書

以下の内容について、FAX 又はメールにてお知らせください（先着順）FAX 075-641-2971

参加希望日 (希望日に <input checked="" type="checkbox"/>)	<input type="checkbox"/> 第2回 12月2日 災害廃棄物（会場） <input type="checkbox"/> 第2回 同 オンライン参加	<input type="checkbox"/> 第3回 1月26日 サーキュラーエコノミー <input type="checkbox"/> 第4回 2月12日 おむつto〇〇〇
企業名・団体名	<input type="checkbox"/> ごみ減会員、 <input type="checkbox"/> 非会員	
団体・事業所電話		
参加者 お名前		
参加者 電話番号	電子メールでの講座等案内配信を希望 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない <input type="checkbox"/> 登録済	
電子メール又はFAX		

*いただいた情報は、お申し込みの講座にかかる案内及び、希望されるメール案内でのみ使用します。

●web 申込フォームもご利用ください。 <https://kyoto-gomigen.jp/works/253.html>

京都市ごみ減量推進会議 

この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収へ

第3回
ウェビナー

令和3年1月26日(火)

「サーキュラーエコノミー～海外の動向、日本の動向～」

今、我々は「大量生産、大量消費、大量廃棄」の直線型経済モデルから、「企業よし、消費者よし、環境よし」の循環型経済モデルへの転換を迫られています。世界人口の増大に反して人口減少の一途を辿りながら、資源、エネルギー、食料などの多くを海外に依存する我が国で、どのような未来を描くのか。そして世界はどう動いているのか。経産省・環境省主催の研究会などの国内の動き、海外の動きなどの最新情報を伺います。

日時：令和3年1月26日(火) 午後2時30分～4時30分

オンライン会場：オンライン配信(ライブ) *お申込者に、別途ご案内します。

参加費：無料(ごみ減会員・非会員共に)

定員：70名(ごみ減会員優先・先着順)

講師：栗生木千佳氏 公益財団法人地球環境戦略研究機関 持続可能な消費と生産領域主任研究員

経済産業省・環境省「サーキュラー・エコノミー及びプラスチック資源循環ファイナンス研究会」委員

第4回
講座

令和3年2月12日(金)

「おむつ to○○○～安心して紙おむつが使える未来へ～」

紙おむつの国内処理量は約200万トンと推計されており、そのほとんどが、水分等が含まれたまま焼却処理されている。この先も、紙おむつのお世話になる人が増える一方、介助やごみ収集を担う若年層は減り、問題の深刻化が懸念される中、令和2年3月末に環境省が「使用済紙おむつの再生利用等に関するガイドライン」を策定。

使用済紙おむつ再生利用等の検討の流れ、国内で先行して行われている取組事例、関連技術、関連規制等と、取組事例のひとつ「鹿児島県志布志市での実証実験」をご紹介いただき、技術がどこまで進んでいるのか、社会全体で導入するにはどういったことをクリアしていく必要があるのかをお話いただいた後、いろいろな立場の方からご質問やご意見をいただき、第一歩を踏み出したいと思います。

日時：令和3年2月12日(金) 午後2時30分～4時30分

会場：京都経済センター 6階 6-C会議室

参加費：無料(ごみ減会員・非会員共に)

定員：50名(ごみ減会員優先・先着順)

講師：前田理沙氏 環境省 環境再生・資源循環局 総務課 リサイクル推進室

和田充弘氏 ユニ・チャーム株式会社 ESG本部 Recycle事業準備室 Manager

*感染症対応等にかかるお願い

会場では定員を絞って開催いたしますが、ご来場の際は、外出前の検温、会場に入られる前の消毒(手洗い)・マスク着用など、ご対応のうえご参加ください。なお、お申し込みをいただいていた場合でも、体調がすぐれない場合は、参加を取りやめていただきますようお願いいたします。なお、状況により、中止又は延期となることがあります。

【お申込み・お問合せ先】 京都市ごみ減量推進会議 (公益財団法人京都市環境保全活動推進協会)

TEL 075-647-3444 FAX 075-641-2971

E-MAIL sanka@kyoto-gomigen.jp HP <http://kyoto-gomigen.jp>